

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,927	t-CO <sub>2</sub>
①(温室効果ガス削減換算)を果す	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	③メタン		t-CO <sub>2</sub>
	④一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑧三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑨エネルギー起源二酸化炭素 (発電所等配分前)		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量 (①~⑨合計)		1,927

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
温室効果ガス総排出量	1,796	t-CO <sub>2</sub>	1,742	t-CO <sub>2</sub>	1,927	t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率 (対 基準年度)			3.0	%	▲ 7.3	%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率 (対 基準年度)						%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
原単位当たりの排出量								
削減率 (対 基準年度)				%		%		%
原単位当たりのみなし排出量								
削減率 (対 基準年度)						%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価 (目標の達成/非達成の理由)

電気使用量増加の要因は、稼働病棟の増加 (3 病棟から 4 病棟)、全館空調の老朽化による故障箇所が多く、個別空調の設置台数の増加、猛暑による冷房負荷の増加、医療機器の設置台数の増加、令和 5 年度に対して、外来・OP 室・病床等の稼働率が増加したこと等です。ガス使用量削減の要因は、建物内の一部の冷温水配管が著しく老朽化し、修繕不能のため、個別空調を設置し、夜間の冷温水発生機の稼働を停止したことです。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに 3,000 トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに 3,000 トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の推進／空調	空調の使用時間について管理を行う。	基本空調について、中央管理によるスケジュール設定を見直し、時間外や使用箇所の利用状況を考慮して再設定する。個別空調についても帰宅時や使用しない部屋の電源オフを徹底する。	継続して取組実施中。外来や病棟等においては、患者への影響がない範囲で取組。
省エネルギー・省資源の推進／照明	蛍光灯をLEDに適時変更を行う。	外来・病棟・通路の一部に導入済みのLEDについて、今後も導入箇所を増やしていく。照明全般について、帰宅時や使用しない部屋の消灯を徹底する。	継続して取組実施中。改修した救急外来においては、室内全てをLED化した。
省エネルギー・省資源の行動の実践／OA機器	操作しない時や退社時の電源オフを徹底する。	パソコンの未使用時、スリープ状態になるよう設定する。OA機器全般について、帰宅時や長時間使用しない機器の電源オフを徹底する。	継続して取組実施中。特に夏場で電力の消費が多い時期には、病院内へ省エネルギーを意識するよう呼びかけを実施。
省エネルギー・省資源の推進／労務	残業時間削減に向けた業務改善を行う。	会議において時間外勤務について協議を継続し、各部門の所属長が業務改善に取り組む。残業による各機器の使用時間を削減する。	継続して取組実施中。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度			
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	30.7	%		%		%		

イ 計画期間 1 年度目（令和 6 年度）における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
kl	t-CO <sub>2</sub>

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 6 年度）における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(4) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日
---

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<p>【計画】 → 【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一部職員へのクールビズ推奨 → 5月～10月までの期間に実施</li><li>・両面コピー及び裏紙の再利用による紙使用量削減、電子フォルダの利用によるペーパーレス化 → 通年で実施</li><li>・ゴミの分別、委託業者による生ごみの堆肥化 → 通年で実施</li></ul>
--

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--